

日本農芸化学会ランチョンセミナー

日時

2024年3月25日(月) 12:35-13:25

会場

D5

プログラム
番号

LS2-6

演題 1

MALDI-MSプロテオタイピングによる 微生物の分析

演者

寺本 華奈江 (株式会社島津製作所)

MALDI-MSによる微生物分析は、臨床微生物検査分野を中心に普及が始まり、今では食品分野の微生物分析にも利用が広がっている。島津製作所では、MALDI-MSによる微生物の試料調製法や、データ処理法に関する研究開発を進めている。微生物をMALDI-MSで測定するとリボソームタンパク質を主としたピーク群が観測されると考えられている。しかし、MALDIマススペクトルのパターンは、培養条件や試料調製法により変わることも経験的に知られている。本セミナーでは、培養条件や試料調製法、現在の課題や今後の展望など、MALDI-MSによる微生物分析について概説する。

演題 2

腸内環境を模した共培養を実現する 腸内細菌共培養デバイスのご紹介

演者

橋本 豊之 (株式会社島津製作所)

腸内細菌が様々な疾患、健康状態と関係があることがわかってきており、腸内細菌を制御することで健康状態を制御できるのではないかと考えられている。島津製作所では、腸内細菌研究、機能性食品素材開発をターゲットとした研究開発ツールである「腸内細菌共培養デバイス」のテスト販売を開始した。このデバイスは腸管上皮細胞を境にApical側を嫌気環境に、Basal側を好気環境に置くことで、生きた腸内細菌と生きた腸管上皮細胞を同一環境で培養(共培養)することを実現したデバイスである。腸内細菌と腸管上皮細胞の相互作用、腸内細菌が産生した物質の細胞透過を調べることができ、腸内細菌の新規機能開発、機能性食品素材の評価に使用できると考えている。本セミナーでは、腸内細菌共培養デバイスの概要、実験例について紹介する。

司会

渡邊 淳 (株式会社島津製作所)

お問合せ

(株)島津製作所 分析計測事業部 営業統括部 産学官・プロジェクト推進室 連携推進グループ
〒101-8448 東京都千代田区神田錦町1-3 TEL : 03-3219-5869